

人形劇で 発見したこと

(特非) 子ども劇場福岡県センター
元理事 水上朋子



1

今日の内容

- I. 人形劇の歴史
- II. 子どもの発達と人形劇
- III. 人形劇が育む創造性とは

I. 人形劇の歴史

- (1) 人形の誕生 3万年前(旧石器時代)
 - ① 出産や安産を願った女神像・土偶の出土
 - ② 人間のかわりに埋葬された兵馬俑
 - ③ ひな人形や武者人形など今でも身近な存在
- (2) 人形劇の誕生
 - ① 動かすことで人形の力を強くする
 - ② 神々への願いを伝える芸能から
人間のドラマを表現する人形劇へ
 - ③ 西洋、東洋を問わず発展の道をたどる

2

I. 人形劇の歴史

(3) 日本での歴史

- ① アニミズムとの関係性
- ② 奈良時代～平安時代 傀儡師(くぐつまわし)の登場
- ③ 室町時代 三味線と物語を語る浄瑠璃
- ④ 江戸時代少し前～ 人形浄瑠璃(文楽)の登場
脚本家 近松門左衛門
- ⑤ 明治時代 西欧化による伝統文化の衰退
- ⑥ 大正時代～ 「幼児教育の場」と
「演劇青年らの取組み」から
現代の人形劇への新しい流れへ

3

II. 子どもの発達と人形劇

(1) 乳幼児期(0歳から6歳)

…人間の土台を作る大切な時期

ア. 0歳から3歳

- a) アニミズム期…全てのものが、自分と同じように
生きていると思う
- b) 自己中心性…自分を基準にものを考えていくこと

イ. 4歳から6歳…言葉のやりとりが豊かになる時期

- a) 2極的な考え方から系統的な事象の理解へ
- b) 楽しい気持ちの共有

4